専門分野Ⅱ

科目名	担当者
44.成人看護学概論	渡部恵利香「看護師実務経験8年」 星野めぐみ「看護師実務経験21年」 伊倉さつき（上越市役所保健師長）

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

到達目標
1．成人看護の対象が理解できる。
2．成人各期の特徴と健康問題が理解できる。
3．成人の健康問題に対応した看護の基本が理解できる。
4．成人の健康レベルに対応した看護が理解できる。

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	1．成人看護の対象の理解	1）成人期の定義 2）人間のライフサイクルから見た成人期の役割	講義	渡部
2	2	2．成人各期の特徴と健康問題	1）青年期の特徴と健康問題 2）壮年期の特徴と健康問題 3）向老期の特徴と健康問題	講義	渡部
3	2	3．成人の健康問題に対応した看護の基本	1）危機状況への対処を促す看護 危機理論とは、ストレス理論とは 2）看護倫理と看護者の役割	講義	渡部
4	2	4．成人の健康レベルに対応した看護	1）健康の定義 2）ヘルスプロモーション（健康管理）を必要とする成人の看護 (1)成人保健の動向と対策	講義	渡部
5	2	4．成人の健康レベルに対応した看護	2）ヘルスプロモーション（健康管理）を必要とする成人の看護 (2)健康生活を脅かす要因と保健活動 生活習慣（飲酒、喫煙、運動不足、肥満）、 ストレス、感染、アレルギー、就業・労働形態、 セクシュアリティ、生活環境衛生　など	講義	伊倉
6	2	4．成人の健康レベルに対応した看護			伊倉
7	2	4．成人の健康レベルに対応した看護	3）治療を必要とする成人の看護 (1)急激な身体侵襲による急性期の患者の看護 急性期の概念（急性期とは、侵襲とは） 成人が遭遇する急激な身体侵襲とは 急性期にある成人と家族の特徴 急性期の成人と家族の看護	講義	渡部
8	2	4．成人の健康レベルに対応した看護			渡部
9	2	4．成人の健康レベルに対応した看護	(2)慢性的な経過をたどる患者の看護 成人期における慢性疾患とその医療の特徴 疾患の自己管理の必要性と関連要因 慢性期の成人の課題と看護の役割 セルフケア理論とは	講義	渡部
10	2	4．成人の健康レベルに対応した看護			渡部
11	2	4．成人の健康レベルに対応した看護	(3)リハビリテーションを必要とする患者の看護 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの概念、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝを必要とする成人の特徴、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ期の看護の役割 （ADLの自立への援助、障害の受容への援助、社会復帰への援助） 4）健康の再構築への支援を必要としている成人の看護 (1)継続看護の必要性　(2)健康教育の必要性 (3)他の医療チームとの連携と社会資源の活用	講義	星野
12	2	4．成人の健康レベルに対応した看護			星野
13	2	4．成人の健康レベルに対応した看護	5）人生の最期を迎える成人の看護 (1)終末期医療の現状　(2)終末期医療における概念 (3)人生の最期のときを過ごしている人の理解 （死の概念、死の判定、全人的苦痛） (4)終末期に必要な看護（症状ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄと緩和ケア、人生の最期のときを支える看護）	講義	星野
14	2	4．成人の健康レベルに対応した看護			星野
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト：e系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学総論　医学書院
参考資料：国民衛生の動向　厚生統計協会

評価方法：筆記試験

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
45.成人看護学方法論Ⅰ （急性期にある成人の看護）	渡部恵利香「看護師実務経験8年」 岡村ひろみ「看護師実務経験33年」 深川　悟「看護師実務経験33年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

目標
1．急激な身体侵襲による急性期看護の特徴が理解できる。。
2．呼吸機能を障害された急性期の患者の看護が理解できる。
3．循環機能を障害された急性期の患者の看護が理解できる。
4．消化機能を障害された急性期の患者の看護が理解できる。

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	1．急性期看護の特徴	1)急性期看護の考え方 2)急性期にある成人の特徴と看護	講義	渡部
		2．呼吸機能を障害された急性期の患者の看護	1)呼吸機能に関する基礎知識 (1)解剖生理 (2)障害の種類 (3)病態生理 2)呼吸機能障害による主な症状の看護 咳、喀痰、呼吸困難、発熱		
2	2	2．呼吸機能を障害された急性期の患者の看護	3)呼吸機能障害時の主な検査・治療・処置の看護 気管支鏡検査、胸部X-P、動脈血ガス分析、 ﾊﾟﾙｽｵｷｼﾒｰﾀｰ、吸入療法、酸素療法、細菌検査	講義	渡部
3	2		4)代表的な呼吸機能障害による急性期の患者の看護 (1)慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者の看護 ①病態 ②アセスメント ③看護活動	講義□	渡部
4	2		(2)肺炎患者の看護 ①病態 ②アセスメント ③看護活動	講義	渡部
5	2	3．循環機能を障害された急性期の患者の看護	1)循環機能に関する基礎知識	講義□	岡村
6	2		2)循環機能障害による主な症状の看護 胸痛、動悸、不整脈、血圧異常、ショック、チアノーゼ	講義□	岡村
7	2		3)循環機能障害時の主な検査・治療・処置の看護 薬物療法、心臓ｶﾃｰﾃﾙ検査、運動負荷試験、 心ｼﾝﾁｸﾞﾗﾌｨｰ、心電図測定の演習	講義	岡村
8	2			講義	岡村
9	2		4)代表的な循環機能障害による急性期の患者の看護 (1)心筋梗塞患者の看護 ①病態 ②アセスメント ③看護活動	講義	岡村
10	2		(2)急性心不全患者の看護 ①病態 ②アセスメント ③看護活動	講義	岡村
11	2	4．消化機能を障害された急性期の患者の看護	1)消化機能に関する基礎知識 (1)解剖生理 (2)機能障害の種類 (3)病態生理 2)消化機能障害による主な症状の看護 吐血・下血、食欲不振、黄疸、肝性脳症	講義	深川
12	2		3)消化機能障害時の 主な検査・治療・処置の看護 内視鏡、消化管造影、腹部エコー下肝生検	講義□	深川
13	2		4)代表的な消化機能障害による急性期の患者の看護 (1)急性肝炎患者の看護 ①病態 ②アセスメント ③看護の実際	講義□	深川
14	2		(2)急性膵炎患者の看護 ①病態 ②アセスメント ③看護の実際 (3)急性胃潰瘍・十二指腸潰瘍患者の看護 ①病態 ②アセスメント ③看護の実際	講義□	深川
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト：e系統看護学講座　専門分野Ⅱ　呼吸器・循環器・消化器　成人看護学　医学書院
参考資料：系統看護学講座　別巻　臨床検査　医学書院

評価方法：筆記試験、看護過程

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
46.成人看護学方法論Ⅱ (回復期にある成人の看護)	平山ゆずり 看護師27年　峰村奈津美 看護師18年 岡村ひろみ 看護師33年　星野めぐみ 看護師21年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義・演習

目標
1. 回復期看護の特徴が理解できる。
2. 運動機能を障害された回復期の患者の看護が理解できる。
3. 脳神経機能を障害された回復期の患者の看護が理解できる。
4. 性機能を障害された回復期の患者の看護が理解できる。

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	1. 回復期看護の特徴	1)回復期看護の考え方 2)回復期にある成人の特徴と看護援助	講義	峰村
		2. 脳神経機能を障害された回復期の患者の看護	1)脳神経機能に関する基礎知識 (1)脳・神経機能の解剖生理		
2	2	2.脳神経機能を障害された回復期の患者の看護	1)脳神経機能に関する基礎知識 (2)病態生理(脳血管障害) (3)障害の種類	講義	峰村
3	2		2)脳神経機能障害による主な症状の看護 頭痛、頭蓋内圧亢進、意識障害、運動機能障害、 感覚機能障害、言語機能障害、認知機能障害	講義	峰村
4	2			講義	峰村
5	2		3)脳神経機能障害時の主な検査・治療・処置の看護 薬物治療、MRI検査、意識レベルの確認法、 髄液検査、脳血管造影、ADL評価	講義	峰村
6	2	3.性機能を障害された回復期の患者の看護	1)性機能に関する基礎知識 (1)乳房の解剖生理 (2)心身・性生活・日常生活に与える影響 2)乳がんの特徴 (1)好発部位 (2)視診・触診 (3)検査	講義	星野
7	2		3)乳がん術後の看護 (1)創部の管理 (2)患側上肢の浮腫への援助 (3)患側上肢の機能回復訓練 (4)ボディイメージの受容への援助 (5)退院指導	講義	星野
8	2	4.運動機能を障害された回復期の患者の看護	1)運動機能に関する基礎知識 (1)解剖生理 (2)障害の種類 (3)病態生理 2)運動機能障害による主な症状の看護 神経麻痺(神経障害)、循環障害とフォルクマン拘縮 疼痛、出血 3)運動機能障害時の主な検査 脊髄造影、関節造影検査	講義	岡村
9	2			講義	岡村
10	2			講義	岡村
11	2		4)保存療法を受ける患者の看護 (1)ギプス固定をうける患者の看護 (2)副子固定を受ける患者の看護 (3)牽引療法を受ける患者の看護	講義	岡村
12	2		5)大腿骨頸部骨折で手術を受ける患者の看護 (1)人工関節置換術後の看護 ①患肢の安静と腓骨神経麻痺の予防 ②運動計画と早期離床 ③退院時の指導	講義	岡村
13	2	2.脳神経機能を障害された回復期の患者の看護	4)リハビリテーションを必要とする患者の看護 (1)ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝを必要とする人の生活上の特徴 (2)ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝを必要とする人の心理的特徴と障 害受容への援助	講義	平山
14	2		(3)機能の維持・回復のための訓練(関節可動域 訓練筋力強化訓練) (4)ADLの再獲得を支援する看護	講義 演習	平山
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト:e系統看護学講座　専門分野Ⅱ　脳・神経、女性生殖器、運動器　医学書院

参考資料:e系統看護学講座　別巻　リハビリテーション看護　医学書院

評価方法:筆記試験

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
47.成人看護学方法論Ⅲ （慢性期にある成人の看護）	飯田明美　看護師35年 渡部恵利香　看護師8年 星野めぐみ　看護師21年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	後期	30	1	15	講義・演習・GW

目標
1．慢性的な経過をたどる患者の看護が理解できる。
2．代謝機能を障害された慢性期の患者の看護が理解できる。
3．腎・泌尿器機能を障害された慢性期の患者の看護が理解できる。

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	1．慢性期看護の特徴	1)慢性期看護の考え方 (1)ヘルスケア理論　(2)エンパワメント 2)慢性的な経過をたどる疾患の特徴 (1)内分泌機能の障害　(2)代謝機能の障害 (3)アレルギー・膠原病の疾患 3)慢性期にある成人の特徴と看護援助	講義	星野
2	2	2．内分泌機能を障害された慢性期の患者の看護	1)内分泌機能に関する基礎知識 (1)内分泌器官の構造と機能　(2)内分泌器官とホルモン (3)内分泌機能のアセスメント 2)代表的な内分泌機能障害による患者の看護 (1)甲状腺機能亢進症に対する看護 (2)甲状腺機能低下症に対する看護	講義	星野
3	2				星野
4	2	3．代謝機能を障害された慢性期の患者の看護	1)代謝機能に関する基礎知識 (1)生涯の種類と病態生理　(2)代謝機能のｱｾｽﾒﾝﾄ (3)代謝機能障害の治療と看護 (4)生活への影響	講義	星野
5	2		2)代表的な代謝機能障害による慢性期の患者の看護 (1)糖尿病患者の看護 ①アセスメント②看護目標 ③主な検査・治療・処置の看護 （内服療法、インスリン療法,運動療法、食事療法） ④看護活動 a.症状に対する看護（低血糖症状、易疲労、体重減少） b.日常生活への援助　c.教育的支援　d.心理社会的支援	講義	星野
6	2				星野
7	2	3．代謝機能を障害された慢性期の患者の看護	(2)糖尿病患者の事例を用いた看護過程の展開 ①アセスメント ②関連図 ③看護計画 ④生活指導（個人指導、集団指導）技術 ⑤自己注射法、簡易血糖測定方法	講義・GW	星野
8	2				星野
9	2				星野
10	2			演習	星野
11	2	4．腎・泌尿器機能を障害された慢性期の患者の看護	1)腎・泌尿器に関する基礎知識 (1)腎・排泄機能の解剖生理　(2)障害の種類 (3)腎機能と水・電解質のｱｾｽﾒﾝﾄ (4)排泄機能障害のｱｾｽﾒﾝﾄ 2)腎・泌尿器機能障害による主な症状の看護 浮腫、頻尿、残尿、尿閉、無尿、乏尿、排尿障害 電解質・酸塩基平衡異常	講義	渡部
12	2		3)腎・泌尿器機能障害による主な検査・治療・ 処置の 看護 (1)尿検査（畜尿、試験紙、尿比重）、血液検査、膀胱鏡、 逆行性腎盂造影、薬物療法（ステロイド、降圧剤） (2)尿路感染症の看護（腎盂腎炎、膀胱炎）	講義	渡部
13	2		4)代表的な腎・泌尿器機能障害の患者の看護 (1)慢性腎不全患者の看護 ①病態生理　②アセスメント ③治療（血液透析療法） ④看護援助(食事療法　透析療法)	講義	飯田
14	2			講義	飯田
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト：e系統看護学講座　専門分野Ⅱ　内分泌・代謝　成人看護学　医学書院
e系統看護学講座　専門分野Ⅱ　腎・泌尿器　成人看護学　医学書院
参考資料：e系統看護学講座　別巻　臨床検査　医学書院

評価方法：筆記試験・看護過程・提出物

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
48.成人看護学方法論Ⅳ（終末期の生を支える看護）	星野めぐみ　看護師21年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	後期	30	1	15	講義・演習

目標
1. 終末期にある成人の特徴と看護の役割を理解できる
2. 終末期にある患者への緩和ケアの方法を理解できる
3. 終末期にある患者の家族・遺族に対する看護が理解できる
4. 終末期看護に従事する医療者のストレスとその対処法が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	1. 終末期にある成人の特徴と看護の役割	1)緩和ケアとは 2)緩和ケアの歴史と現状 3)終末期にある人の身体的・精神的・社会的特徴	講義	星野
2	2		4)終末期に起こりやすい倫理的問題 5)アドバンスドケアプランニング	講義	星野
3	2		6)緩和ケアにおけるチーム医療 7)医療者のストレスマネジメント	講義	星野
4	2	2. 終末期にある成人への緩和ケア	1)痛みに対する看護	講義	星野
5	2		2)その他の症状に対する看護 全身倦怠感、食欲不振、吐気・嘔吐、呼吸困難、浮腫、不安、抑うつ、せん妄など		
6	2		3)社会的苦痛に対する看護		
7	2		1)痛みに対する看護 2)その他の症状に対する看護 ケーススタディ	演習	星野
8	2		4)スピリチュアルペインに対する看護 スピリチュアルペインに対するケア	講義	星野
9	2			演習	星野
10	2		5)患者の意思決定を支えるコミュニケーション	講義 演習	星野
11	2		5)患者の意思決定を支えるコミュニケーション ロールプレイ		
12	2	3. 終末期にある患者の家族・遺族に対する看護	1)家族ケア・遺族ケアの基本的な考え方 2)遺族ケアの実際	講義	星野
13	2		3)臨終時の看護	講義	星野
14	2	2. 終末期にある成人への緩和ケア	6)終末期にある成人への看護援助 輸液ラインが入っている患者の寝衣交換	演習	
15	2	科目試験		試験	星野

使用テキスト：e系統看護学講座　別巻　緩和ケア　医学書院

評価方法：筆記試験・提出物

専門科目Ⅱ

科目名	担当者
49.成人看護学方法論Ⅴ (特殊な治療・処置を受ける成人の看護)	渡部恵利香　看護師8年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義･演習･GW

目標　1．手術療法を受ける患者の看護が理解できる。
2．救命救急時の看護の特徴を理解し、一次救命処置が実施できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	1．手術療法を受ける患者の看護	1)手術過程に応じた看護 (1)術前の看護 ①インフォームドコンセント　②術前オリエンテーション ③術前アセスメント　④手術室への入室	講義	渡部
2	2		(2)術中の看護 ①手術室の環境管理　②麻酔導入の援助 ③手術体位の固定　④手洗い看護師の援助 ⑤外回り看護師の援助　⑥麻酔覚醒時の援助	講義	渡部
3	2		(3)術後の看護 ①術直後のモニタリング　②疼痛・苦痛の緩和 ③術後回復促進のケア	講義	渡部
4	2		(4)術後合併症と予防のための看護 ①肺合併症　②循環不全　③イレウス　④術後感染 ⑤縫合不全　⑥術後せん妄	講義	渡部
5	2		2)開胸手術を受ける患者の看護 (1)呼吸機能に関する基礎知識 (2)肺がん・気胸の手術が患者に与える侵襲と回復過程 (3)肺がん・気胸の手術が与える生活への影響	講義	渡部
6	2		(4)術前術後の特徴的看護 ①主な症状(疼痛、無気肺) ②主な治療(胸腔内ドレーン低圧持続吸引、体位ドレナージ)	講義	渡部
7	2		3)開腹手術を受ける患者(胃がん)の看護 (1)上部消化管機能に関する基礎知識 (2)胃がんの手術が患者に与える侵襲と回復過程 (3)胃がんの手術が与える生活への影響	講義	渡部
8	2		(4)術前術後の特徴的看護 ①主な治療・検査(胃管カテーテル、腹腔内ドレーン) 4)腹腔鏡下手術を受ける患者の看護		渡部
9	2		6)代表的な周手術期の患者の看護	演習・GW	渡部
10	2		(1)手術直後の対象の理解 (2)大腸患者の手術後の看護展開	講義	渡部
11	2		①病態　②アセスメント　③関連図　④看護計画	講義	渡部
12	2		7)特殊な治療を受ける患者の看護 (1)抗がん剤療法を受ける患者の看護 (2)放射線療法を受ける患者の看護	講義	渡部
13	2	2．救急看護	1)救急看護の考え方 2)救急看護を受ける患者の特徴 3)成人に多い救急処置を要する病態に対する看護 (1)事故(外傷、脊髄損傷)　(2)ショック　(3)熱中症	講義	渡部
14	2			講義 演習	渡部
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト
e系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論　医学書院、系統看護学講座　別巻　臨床外科看護各論　医学書院
e系統看護学講座　別巻　救急看護学　医学書院

評価方法
筆記試験・看護過程

専門科目Ⅱ

科目名					
50.老年看護学概論				佐々木保子「看護師7年」 星野めぐみ「看護師21年」 吉井靖子「看護師41年　井澗由加理「看護師23年」	
年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義・演習

目標:
1. 老年看護の概念と特性について理解する
2. 老年期を生きることの意味と価値が多角的に理解できる
3. 高齢化社会の人口学的概況と諸問題が理解できる
4. 高齢者における保健・医療・福祉が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	老年看護の概念	1)老いるということ、老いを生きるということを捉える (1)高齢者を知る (2)老いのイメージ	DVD 映画	佐々木
2	3		2)老いるということ、老いを生きるということを理解する (1)加齢と老化 (2)高齢者の定義	講義	佐々木
3	2		(3)加齢に伴う身体的・心理的・社会的側面の変化	講義	佐々木
4	2		(4)老年期における発達と成熟 ①老年期の発達課題(エリクソン・ペック・ハヴィガースト) ②高齢者のスピリチュアリティの特徴 ③老年期の健康と生活	講義	佐々木
5	2		3)高齢者を取り巻く社会 (1)超高齢社会の現状　(2)高齢者と家族 (3)高齢者の死亡　(4)高齢者の暮らし	講義	佐々木
6	2		4)高齢者の権利擁護 (1)高齢者に対するスティグマと差別 (2)高齢者虐待、身体拘束 (3)権利擁護のための制度(成年後見制度)	演習・講義	佐々木
7	2		5)老年看護の役割 (1)老年看護の定義 (2)老年看護の特徴	講義・GW	佐々木
8	2	高齢者の ヘルスアセスメント	1)身体の加齢変化とアセスメント (1)皮膚　(2)視聴覚　(3)循環系　(4)呼吸器系	講義	佐々木
9	2		1)身体の加齢変化とアセスメント (5)消化器系　(6)内分泌系　(7)泌尿生殖器　(8)運動系	講義	佐々木
10	2		2)高齢者体験	演習・講義	佐々木
11	2		3)生活の自立状態のアセスメント 4)心理・社会的(認知)健康のアセスメント 5)環境のアセスメント 6)生活史のアセスメント	講義	井澗
12	2	高齢社会における 保健医療福祉の動向	1)高齢者にかかわる保健医療福祉 (1)保健福祉医療制度の変遷 (2)介護保険制度の目的と理念 (3)介護保険制度のしくみ	講義	吉井
13	2		(4)高齢者医療のしくみ (5)高齢者を支える多職種連携と看護活動の多様化	講義	吉井
14	2	エンドオブライフケア	1)エンドオブライフケアの概念 2)生ききることを支えるケア 3)意思決定への支援 高齢者の尊厳をまもるための支援	講義	星野
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料
e老年看護学　医学書院
国民衛生の動向　厚生統計協会

評価方法 : 筆記試験　レポート

専門科目Ⅱ

科目名	担当者
51.老年看護学方法論Ⅰ（基本技術）	井澗由加理　看護師25年 地田紀美子　看護師34年 佐々木保子　看護師7年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義・演習

目標:
1. 老年者の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる
2. 高齢者の生命・健康・生活の質の維持、向上をめざした援助技術が理解できる
3. 自立支援の視点から生活障害・健康障害に適した看護の方法が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	高齢者の日常生活を支える看護	1)日常生活を支える基本動作 (1)基本動作・環境のアセスメントと看護ケア (2)日常生活活動の評価指標	講義	地田
2	2		2)食事と看護ケア (1)高齢者に特徴的な変調　(2)食事に対する看護ケア	講義	地田
3	2		3)清潔と看護ケア (1)清潔の意義　(2)高齢者に特徴的な変調 (3)清潔のアセスメント　(4)清潔の看護ケア	講義	井澗
4	2		4)排泄と看護ケア (1)排泄ケアの基本姿勢　(2)排泄障害とその特徴 (3)排泄のアセスメントと看護	講義	井澗
5	2		5)生活リズムと看護ケア (1)高齢者と生活リズム　(2)高齢者に特徴的な変調 (3)生活リズムのアセスメント (4)生活リズムを整える看護	講義	佐々木
6	2		6)コミュニケーションと看護ケア (1)高齢者とのコミュニケーションとかかわり方の原則 (2)コミュニケーション能力のアセスメント (3)高齢者におこりやすいコミュニケーション障害	講義	佐々木
7	2	老年看護の基本技術	1)高齢者の口腔ケアの実際(義歯挿入患者) (1)口腔ケアスポンジでの口腔ケア (2)軟毛歯ブラシでの舌苔を除去　(3)義歯洗浄	講義・演習	佐々木
8	2		2)非経口的栄養摂取の援助 (1)経管栄養法 ①栄養法の種類と特徴 ②胃管挿入(経鼻経管栄養法)と瘻管法 (2)中心静脈栄養法	講義・演習	佐々木
9	2		(3)胃管挿入(経鼻経管栄養法)の実際	演習	佐々木
10	2		3)排尿障害のある患者の援助の実際 (1)導尿の基礎知識	講義	佐々木
11	2		(2)膀胱留置カテーテル法	演習	佐々木
12	2	高齢者の健康を支える看護	1)高齢者によくみられる身体症状とアセスメント (1)発熱　(2)痛み	講義	地田
13	2		1)高齢者によくみられる身体症状とアセスメント (3)掻痒(かゆみ)　(4)脱水	講義	地田
14	2		1)高齢者によくみられる身体症状とアセスメント (5)嘔吐　(6)浮腫　(7)倦怠感	講義	地田
15	2	科目試験	科目試験の実施	筆記試験	

使用テキスト・参考資料
e老年看護学　医学書院
e系統看護学講座専門Ⅰ　基礎看護技術Ⅱ　医学書院

評価方法 ： 筆記試験・レポート

専門科目Ⅱ

科目名	担当者
52.老年看護学方法論Ⅱ（健康障害時の看護）	井澗由加理　看護師25年　　佐藤予右子　看護師22年 地田紀美子　看護師34年　　佐々木保子　看護師7年 宮越陽子　保健師・看護師17年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義

目標：
1. 老年者における健康障害時の看護について理解する
2. 障害・疾病をもつ高齢者へ看護が理解できる
3. 治療を受ける高齢者への看護が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	治療を受ける高齢者の看護	1)薬物療法を受ける高齢者の看護 (1)加齢に伴う薬物動態の変化 (2)高齢者に特徴的な薬物有害事象 (3)老年症候群と薬物有害事象	講義	佐々木
2	2	高齢者に特有な症候・疾患・障害の看護	1)認知機能障害のある高齢者の看護 (1)うつのアセスメントと看護 (2)せん妄のアセスメントと看護 (3)認知症のアセスメントと看護	講義	井澗
3	2		2)感覚器の疾患のある高齢者の看護 (1)緑内障の治療と看護　(2)老人性白内障の治療と看護	講義	地田
4	2		(3)老人性難聴　(4)平衡感覚の変調 (5)味覚・嗅覚の変調	講義	地田
5	2		3)呼吸器系疾患のある高齢者の看護 (1)高齢者の肺炎 ①誤嚥と反射の低下　②誤嚥性肺炎の予防	講義	佐々木
6	2		4)神経疾患のある高齢者の看護 (1)パーキンソン病・パーキンソン症候群 ①病態生理・症状　②看護の要点 5)泌尿器系の疾患のある高齢者の看護 (1)前立腺肥大症患者の治療と看護 (2)尿路感染症の治療と看護	講義	佐々木
7	2		6)運動器の疾患のある高齢者の看護 (1)骨粗鬆症 ①病態生理　②診断・治療　③看護の要点 (2)大腿骨頸部骨折 ①高齢者の骨折の特徴　②症候 ③診断と治療　④看護の要点	講義	佐藤
8	2		7)感染症 (1)感染症の予防 (2)高齢者の感染症 ①MRSA　②ノロウイルス感染症　③疥癬	講義	佐藤
9	2		8)廃用症候群のアセスメントと看護 (1)高齢者と廃用症候群 (2)廃用症候群の早期発見・予防に向けた看護	講義	佐藤
10	2	リハビリテーションを受ける高齢者の看護	1)リハビリテーションを必要とする高齢 (1)高齢者リハビリテーションの特徴 (2)リハビリテーションを受ける高齢者の看護 ①運動器疾患リハビリテーションにおける看護師の役割 ②廃用性疾患のリハビリテーション フレイル・サルコペニアとリハビリテーション	講義	佐藤
11	2	安らかな死に向かう看護	1)末期段階に求められる援助 (1)高齢者の意思決定のための看護の役割 (2)高齢者の末期段階における身体的変化とアセスメント (3)家族への支援	講義	佐々木
12	2	生活・療養の場における看護の展開	1)高齢者を包括的・継続的に支援する活動 地域連携クリティカルパス/地域包括支援システム 2)保険医療福祉施設における看護 (1)急性期治療を担う医療施設の特徴と看護	講義	宮越
13	2		(2)リハビリテーションを担う医療施設の特徴と看護 (3)療養生活を支える保健医療福祉施設の特徴と看護	講義	宮越
14	2	高齢者のリスクマネージメント	1）高齢者と医療安全 2）高齢者と災害看護	講義	地田
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料
e老年看護学　医学書院
e老年看護　病態・疾患論　医学書院

評価方法 ： 筆記試験

専門科目Ⅱ

科目名	担当者
53.老年看護学方法論Ⅲ （事例展開）	佐々木保子　看護師7年 菊入恵一　作業療法士

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	後期	15	1	8	講義・演習

目標
1．老年者の看護過程について理解する
2．生活機能の観点からアセスメントし、看護を展開する方法が理解できる
3．廃用症候群予防・認知症予防を考え、個別性のある計画を立案できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	社会参加を促す 治療的レクリエーション	1)レクリエーションの定義 2)レクリエーションの効果 3)治療的レクリエーションの基本的な考え方 4)レクリエーション活動における集団のとらえ方 (1)集団の特徴に応じたレクリエーション活動 (2)集団の成長・発展を促すレクリエーション活動	講義	菊入
2	2		5)ICFの「社会参加」の視点からみたレクリエーション活動 6)治療的レクリエーションの実際 作業療法におけるレクリエーションプログラムの立案と展開	講義・演習	菊入
3	2	生活の質の向上を図る看護	1)高齢者の特徴をいかした看護過程の考え方 (1)生活行動を踏まえた看護過程 (2)目標思考型思考 2)高齢者の集団へのレクリエーションの実際 (1)事例紹介 (2)アセスメント	講義・GW	佐々木
4	2		2)高齢者の集団へのレクリエーションの実際 (3)集団の個別を考慮したレクリエーションの立案（援助計画表）	GW	佐々木
5	2			GW	佐々木
6	2			GW	佐々木
7	2		3)援助計画表のグループ発表	GW	佐々木
8	1	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料　：
e老年看護学　医学書院
e老年看護　病態・疾患論　医学書院

評価方法：筆記試験(20)・看護過程(80)

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
54.小児看護学概論	秋山啓子「看護師実務経験15年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義/GW

目標
1. 小児看護の目的と小児看護の役割について理解できる
2. 子どもを取り巻く社会の現状を知り、子どもの権利が理解できる
3. 子どもの成長・発達を理解し、養護について考えることができる
4. 子どもの健康生活への看護が理解できる

回数	時間			教授方法	備考
1	2	小児看護の特徴と理念	1. 小児看護の目指すところ	講義	秋山
2	2		1. 小児と家族の諸統計	講義	
3	2		1. 小児看護の変遷と課題	講義	
4	2		1. 小児看護の倫理	講義	
5	2	子どもの成長・発達	1. 発達総論 2. 形態的成長	講義	
6	2		1. 機能的発達	講義	
7	2		1. 心理・社会的発達	講義	
8	2		1. 小児看護における発達理論	講義	
9	2	小児の栄養	1. 小児にとっての栄養の意義 2. 栄養摂取基準 3. 小児各期の栄養	講義	
10	2	小児各期の養育と看護	1. 食事 2. 睡眠 3. 排せつ 4. 清潔 5. 遊び 6. 衣類・寝具	講義/GW	
11	2				
12	2				
13	2				
14	2			演習	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト
e医学書院:小児看護学概論　小児臨床看護総論　小児看護学①
参考テキスト
厚生労働統計協会: 国民衛生の動向

評価方法　:　提出物および科目試験

専門分野Ⅱ

科 目 名	担 当 者
55.小児看護学方法論Ⅰ (子どもの健康生活と看護)	秋山啓子 看護師17年 船岡未恵 看護師14年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	15	1	8	講義/GW

目標　　1. 子ども各期の健康生活とその実際を理解する

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	子どものアセスメントに必要な技術	1.子ども各期とのコミュニケーション ①乳児とのコミュニケーション ②幼児とのコミュニケーション ③就学前の子どもとのコミュニケーション ④学童期の子どもとのコミュニケーション ⑤思春期の子どもとのコミュニケーション	講義・演習	船岡
2	2	家族の特徴とアセスメント	1.子どもにとっての家族とは ①家族とは ②現代家族の特徴 ③愛着行動 2.家族アセスメント ①子どもを持つ家族のアセスメントの留意点 ②子 どもを持つ家族のアセスメントの目的 ③家族アセスメントの家族にとっての意味	講義	
3	2	子どもと家族を取り巻く社会	1.児童福祉 ①児童福祉の歴史 ②現在の児童福祉 2.母子保健 ①母子保健の歴史 ②現在の母子保健 3.医療費の支援 ①未熟児療育医療 ②小児慢性特定疾病医療費助成制度	講義	秋山
4	2		4..予防接種 ①予防接種の歴史 ②現在の予防接種 ③副反応と健康被害救済制度 5.学校保健 ①学校保健の歴史 ②健康診断 ③健康相談 ④ 感染予防 ⑤学校保健活動の推進 6.特別支援教育 7.臓器移植法	講義	
5	2		1.上越市の社会資源を考える ①グループで上越市内で取り組まれている子育て支援を調べる ②調べた子育て支援について発表に向けてまとめる ③グループ発表	GW	船岡
6	2				
7	2				
8	1	科目試験		試験	

使用テキスト
e医学書院:小児看護学概論　小児臨床看護総論　小児看護学①
参考テキスト
日総研:小児看護学　子どもと家族の示す行動への判断とケア　第8版
国民衛生の動向

評価方法 ： 提出物および科目試験(船岡85点, 秋山15点)

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
56.小児看護学方法論Ⅱ (病気の子どもと看護)	関 貴子　看護師15年 上石浩美　看護師35年 船岡未恵　看護師14年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義/GW/演習

授業目的 ： 小児期の健康障害と看護の特性について理解する

到達目標 ：
1. 健康障害を持つ子どもと家族の看護が理解できる
2. 子どもの健康障害に応じた看護技術が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	病気・障害を持つ子どもと家族の看護	1. 病気・障害が子どもと家族に与える影響 2. 子どもの健康問題と看護	講義	上石
2	2	子どもの状況に特徴づけられる看護	1. 入院中の子どもと家族の看護 2. 外来における子どもと家族の看護 3 在宅療養中の子どもと家族の看護 4. 災害時の子どもと家族の看護	講義	
3	2			講義	
4	2	子どもにおける疾病の経過と看護	1. 慢性期にある子どもと家族の看護 2. 急性期にある子どもと家族の看護 3. 周手術期の子どもと家族の看護 4. 終末期の子どもと家族の看護 5. 救命処置	講義	
5	2			講義	
6	2	子どものアセスメント	1. アセスメントに必要な技術 ①バイタルサイン ②身体測定 2. 身体的アセスメント	講義	
7	2	症状を示す子どもの看護	1.不きげん 2.啼泣 3.痛み 4.呼吸困難 5.チアノーゼ 6.ショック 7.意識障害 8.けいれん 9.発熱 10.嘔吐 11.下痢 12.便秘 13.脱水 14.浮腫 15.出血 16.貧血 17.発疹 18.黄疸	講義	
8	2	検査・処置を受ける子どもの看護	1. 子どもにとっての検査・処置体験 2. 薬物動態と薬用量の決定 ①薬物動態 ②薬用量の決定	講義	
9	2		3. 子どもとのコミュニケーション方法と安全面を考慮した事例によるGWと演習 ①バイタルサイン測定 ②採血 ③吸入 ④清拭 ⑤与薬	講義 GW 演習	船岡 上越総合病院看護師
10	2				
11	2				
12	2				
13	2	障害のある子どもと家族の看護	1. 障害のとらえ方 2. 障害のある子どもと家族の特徴 3.障害のある子どもと家族の社会支援	講義	関
14	2	子どもの虐待と看護	1.子どもの虐待の現状と対策の経緯 2.子どもの虐待とは 3.リスク要因と発生予防・早期発見 4.子どもの虐待に特徴的にみられる状況 5.求められるケア	講義	船岡
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト
e医学書院:小児看護学概論 小児看護学総論 小児看護学①
医学書院:小児臨床看護各論 小児看護学②

評価方法 ： 提出物および科目試験(船岡10点, 上石80点, 関10点)

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
57.小児看護学方法論Ⅲ (健康障害を持つ子どもの看護)	坂井知倫　医師11年 船岡未恵　看護師14年 上石浩美　看護師35年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	後期	30	1	15	講義・GW

授業目的 ： 1. 小児期の主要な疾患の病態・症状・検査・治療について理解する

到達目標 ： 1. 基礎的疾患の病態・症状・検査・治療が理解できる
2. 病気の子どもへの看護過程を理解する

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	健康障害を持つ子ども	1. 染色体異常 2. 新生児の疾患	講義	坂井
2	2		3. 代謝性疾患 4. 内分泌疾患	講義	
3	2		5. 免疫・アレルギー性紫斑・リウマチ性疾患 6. 感染症	講義	
4	2		7. 循環器疾患	講義	
5	2		8. 呼吸器疾患 9. 消化器疾患	講義	
6	2		10. 血液・造血機能疾患 11. 悪性新生物(白血病、脳腫瘍)	講義	
7	2		12. 腎・泌尿器および生殖器疾患 13. 神経疾患	講義	
8	2		14. 精神疾患 15. 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉科の小児特有の疾患	講義	
9	2	事例による看護過程の展開	川崎病患児による事例展開および発表 1.病態生理　2.情報の整理　3.分析・解釈　4.関連図 5.看護記録	GW	船岡 上石 (発表)
10	2				
11	2				
12	2				
13	2				
14	2				
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト
e医学書院:小児看護学概論　小児看護学総論　小児看護学①
e医学書院:小児臨床看護各論　小児看護学②

評価方法 ： 提出物および科目試験(船岡40点, 坂井60点)

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
58.母性看護学概論	横澤亜希子「助産師・看護師25年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

目標
1. 母性看護の変遷を知り、母性看護の理念、目的、対象が理解できる
2. 健全な母子・父子関係が理解できる
3. 母子保健統計を捉え、母性を保護する法律と保健対策が理解できる
4. 女性のライフサイクル各期の健康問題と看護が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	母性看護の概念 （母子・父子関係）	1）母性の概念　①母性・父性　②親役割 2）母性看護の対象 3）家族の機能・発達（親になること）	講義	
2	2	母性看護のあり方・基盤	1）母性看護のあり方 ①母性看護の理念　②母性看護の目的・目標 ③母性看護の役割　④母性看護の場と職種	講義	
3	2	母性看護の対象を取り巻く社会変遷と現状・母子保健	1）日本の母性看護の歩み 2）母子保健動向　①母性看護に関する行政の歩み ②母性看護に関する統計	講義	
4	2		3）母子保健に関する法律と施策 4）災害時の母子保健 5）在留外国人の母子支援 6）周産期医療システム	講義	
5	2	女性の生殖に関する生理	1)生殖器の形態・機能 ①月経と性周期　②乳房　③生殖器 2）妊娠の成り立ち	講義	
6	2	セクシュアリティの概念	1）胎児の性分化 2）人間の性/セクシュアリティ概念 3）ジェンダーと性役割/性の多様性	講義	
7	2	思春期の健康問題と看護	1）思春期の健康問題と看護 (1)思春期女性の特徴 ①身体的特徴　②心理・社会的特徴 2）思春期の健康問題と看護 ①人工妊娠中絶　②性感染症 3）思春期の保健と指導 ①月経に関する教育　②性教育	講義	横澤
8	2				
9	2	思春期教育	GWにより思春期健康教育の実践・発表	GW	
10	2	成熟期の健康問題と看護	1)成熟期女性の特徴 ①身体的特徴　②心理・社会的特徴 2）成熟期女性に起こりやすい健康問題と看護 ①子宮筋腫・内膜症・子宮頸がん	講義	
11	2		②不妊症・生殖補助医療 3)成熟期の健康教育と家族計画 4）母性看護の課題　①児童虐待　②性暴力	講義	
12	2	更年期・老年期の健康問題と看護	1）更年期の健康問題と看護 （1）更年期女性の特徴 ①身体的特徴　②心理・社会的特徴 (2)更年期に起こりやすい健康問題と看護 ①更年期障害　②尿失禁　③萎縮性膣炎 ③骨粗鬆症	講義	
13	2	母性看護における倫理	1）看護倫理と生命倫理		
14	2		1）生殖をめぐる倫理的課題と意思決定の支援	講義	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト
医学書院：母性看護学概論　　医学書院：母性看護学各論

評価方法：筆記試験　GW内容

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
59.母性看護学方法論Ⅰ （妊娠・分娩期の看護）	沼田美里　助産師・看護師12年 渡邉文香　保健師・助産師・看護師12年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	30	1	15	講義・DVD・演習

目標	1. 妊娠の生理と妊娠による生理的変化、心理・社会的特徴が理解できる 2. 正常な妊娠経過を促すための看護が理解できる 3. 分娩の要素と経過が理解できる 4. 正常な分娩経を促すための看護が理解できる 5. 妊産婦の看護に必要な看護技術が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	妊娠の生理	1）妊娠の生理 ①妊娠の成立　②胎児の発育と母体の生理的変化 2）妊娠期の身体・心理・社会的特徴	講義	沼田
2	2	妊娠の診断と経過	1）妊娠の診断と妊娠の経過 ①妊娠の診断　②妊娠の経過と胎児の発育	講義	
3	2	妊娠期の看護	1）妊婦と胎児のアセスメント ①妊娠経過の診断 ②胎児の健康状態の診断 ③妊婦健康診査 ④妊娠期のマイナートラブル ⑤妊娠期の日常生活援助	講義	
4	2			講義	
5	2	妊娠期の保健指導	1）妊娠期の保健指導 ①保健指導の目的　②保健指導の方法 ③保健指導の内容　④親になるための準備教育	講義	
6	2	母親役割獲得	1）母親役割獲得の準備 ①親になるための準備教育　②集団指導 2）妊娠期のメンタルヘルスケア	講義	
7	2	妊婦に必要な看護技術	1)妊婦に必要な看護技術 ①観察技術 ・腹囲、子宮底測定　・レオポルド触診法 ・胎児心音の聴取（NST装着）　・乳頭の手入れ ②日常生活援助技術 ・妊婦体操　・安楽な体位　・保健指導	講義・演習	沼田 渡邊
8	2			講義・演習	
9	2	分娩の要素	1)分娩の要素 ①分娩の定義　②分娩の3要素 ③胎児と子宮・骨盤　④分娩の機序	講義	渡邊
10	2	分娩の経過	1）分娩開始の徴候 2)分娩の経過 ①分娩の進行状態　②分娩所要時間　③産痛 ④胎児に及ぼす影響　④産婦の心理・社会的変化	講義	
11	2	分娩期の看護	1）産婦のニード 2）分娩の進行の観察 3）分娩各期の援助 ①分娩第1期の看護　③分娩第2期の看護 ④分娩第3期の看護　⑤分娩第4期の看護 4)分娩期のメンタルヘルスケア ①出産体験の臨床的意義　②出産の振り返り	講義・DVD	
12	2			講義	
13	2	産婦に必要な看護技術	1）産婦に必要な看護技術 ①観察技術 ・胎児心音測定・陣痛測定・子宮収縮状態・胎盤計測 ②日常生活援助技術 ・呼吸法・分娩時補助動作・安楽な体位 ・リラクゼーション　・産痛緩和方法	演習	沼田 渡邊
14	2				
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト
e医学書院：母性看護学概論
e医学書院：母性看護学各論

評価方法：筆記試験・課題内容

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
60.母性看護学方法論Ⅱ （産褥期・新生児の看護）	横澤亜希子　助産師・看護師25年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	後期	30	1	15	講義・GW・演習

目標

1. 産褥期の生理的変化・特性が理解ができる
2. 正常な産褥経過を促すための看護が理解できる
3. 新生児の生理的変化と特徴が理解できる
4. 新生児の胎外生活適応のための看護が理解できる
5. 褥婦および新生児に必要な看護技術を理解し実施できる
6. 事例による看護過程の展開を通して、母性看護の能力を養うことができる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	産褥期の経過	1)産褥の定義・産褥の経過 ①産褥期の身体的変化　②精神・社会的変化	講義	横澤
2	2	褥婦の看護	2)正常な褥婦の看護・産褥経過の診断とアセスメント ①復古への援助　②感染予防 ③不快症状への対処とセルフケア ④母乳育児への援助　⑤母親役割獲得への援助 ⑥メンタルヘルスケア	講義	
3	2		3)産後に必要な届出と母子施策 ①出産にかかわる届出　②行政サービス　③勤労女性	講義	
4	2		4）褥婦に必要な指導（育児技術獲得への支援） ①育児技術・授乳・児の清潔・児の健康管理 ②退院へ向けた援助・育児支援・家族関係再構築への看護 ③家族計画指導	講義	
5	2	褥婦の看護技術	1）褥婦に必要な看護技術の理解と実施 ①観察の技術：子宮底・悪露・乳房・授乳姿勢 ②指導技術：産褥体操・乳房の手当て・授乳技術	演習	
6	2	新生児の特徴	1）新生児の定義・分類 2）新生児の生理・子宮外適応現象 ①呼吸　②循環　③消化・吸収　④腎機能　⑤肝臓　⑥体温 ⑦反射　⑧感覚機能　⑨免疫　⑩皮膚　⑪姿勢	講義	
7	2	新生児の看護	3）出生直後の看護 4）出生から退院時までの看護・新生児の観察とアセスメント ①基本的情報 ②子宮外生活適応過程 バイタルサイン・全身状態・身体計測・排泄状態・ 栄養状態・生理的体重減少・黄疸 5）新生児に実施される検査 ①先天性代謝異常　②聴力　③血糖値　④血清ビリルビン 6）母子関係の確立・育児支援 7）新生児の保育環境、感染予防、医療事故、医療安全	講義	
8	2	新生児の看護技術	1）新生児の看護技術の理解 ①観察技術：バイタルサイン測定・全身の観察・身体計測 ②生活援助技術：沐浴・ドライテクニック・おむつ交換・衣類の着脱・臍処置 ・抱き方、寝かせ方	講義	
9	2	新生児の看護技術	1)新生児の看護技術の理解 2)新生児の看護技術の実施 ①観察技術：バイタルサイン測定・全身の観察・身体計測 ②日常生活援助技術	講義・DVD・演習	
10	2		・沐浴・ドライテクニック・おむつ交換・衣類の着脱・臍処置 ・抱き方、寝かせ方		
11	2	看護過程の展開	正常経過の褥婦・新生児の看護過程 ／ウェルネス思考のアセスメント	講義	
12	2			GW	
13	2			GW	
14	2		正常経過の褥婦の看護過程　アセスメント学習発表会□	GW	
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト
e医学書院：母性看護学概論　　e医学書院：母性看護学各論

評価方法：筆記試験・看護過程発表内容

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
61.母性看護学方法論Ⅲ **（ハイリスク状態にある妊産褥婦と新生児の看護）**	上原尚子　助産師・看護師 庄司なおみ　看護師27年 横澤亜希子　助産師・看護師25年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	後期	30	1	15	講義･演習・DVD

目標

1. 妊娠中に起こりやすい正常からの逸脱や、そのリスクについて理解できる
2. 分娩期に起こりやすい異常が理解できる
3. 産褥の異常が理解できる
4. ハイリスク新生児が理解できる
5. .ハイリスクな状態にある人（妊産褥婦と新生児）の看護について理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	ハイリスク妊娠の理解	ハイリスク妊娠の理解 ①妊娠合併症・妊娠悪阻・妊娠高血圧症候群 ②流産・早産　③常位胎盤早期剥離、前置胎盤	講義	上原
2	2	ハイリスク妊婦の看護	ハイリスク妊婦の看護 妊娠合併症 ①悪阻　②妊娠性貧血　③妊娠性糖尿病 ④妊娠高血圧症候群　⑤体位の異常　⑥多胎妊娠 ⑦切迫流産・切迫早産　⑧常位胎盤早期剥離 ⑨前置胎盤　⑩子宮外妊娠　⑪胞状奇胎 ⑫不妊治療(生殖補助医療)　⑬出生前診断	講義	
3	2	ハイリスク分娩の理解	ハイリスク分娩の理解 ①陣痛異常（微弱陣痛・過強陣痛）　②胎児機能不全 ③胎児付属物の異常　④骨盤位分娩　⑤吸引分娩 ⑥産科ショック	講義	
4	2	ハイリスク産婦の看護	ハイリスク産婦の看護 ①陣痛異常（微弱陣痛・過強陣痛）　②胎児機能不全 ③前期破水　④分娩時異常出血	講義	
5	2				
6	2	ハイリスク産褥の理解	ハイリスク褥婦の理解 ①子宮復古不全　②産褥期の感染　③産褥精神障害 ④周産期の死別	講義	横澤
7	2	ハイリスク褥婦の看護①	ハイリスク褥婦の看護 ①子宮復古不全　②産褥熱　③産褥尿路感染症 ④乳腺炎　⑤乳頭の亀裂　⑥産褥精神障害	講義	
8	2	ハイリスク褥婦の看護②	帝王切開の適応/実際/看護 死産の看護/周産期の死を体験した家族への看護	講義	
9	2	ハイリスク褥婦の看護③	子宮復古不全の看護 帝王切開術の看護	演習	
10	2				
11	2	ハイリスク新生児とは	ハイリスク新生児の理解 ①新生児仮死　②分娩外傷　③感染症 ④呼吸障害(TTN・RDS・MAS) ⑤早産児・低出生体重児　⑥高ビリルビン血症	講義・DVD・演習	庄司
12	2	ハイリスク新生児の看護	ハイリスク新生児の看護 ①新生児仮死　②分娩外傷 ③感染症　④呼吸障害(TTN・RDS・MAS) ⑤高ビリルビン血症　⑥早産児・低出生体重児 ⑦新生児ビタミンK欠乏症　⑧低血糖 先天異常・障害をもつ新生児の看護 ①外表奇形　②内臓奇形　③染色体異常 ハイリスク新生児の母親・家族への援助 ①先天異常をもつ子どもの家族 ②障害をもつ子どもの家族 保育器の取り扱い		
13	2	ハイリスク新生児の看護			
14	2	ハイリスク新生児の看護			
15	2	科目試験			

使用テキスト
　e医学書院:母性看護学各論　母性看護学概論　　e医学書院:小児臨床看護各論

評価方法　：　筆記試験

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
62.精神看護学概論	鳥越千穂「看護師実務経験25年」

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
1	後期	30	1	15	講義

目標	1．精神看護・精神保健の基本的考え方が理解できる 2．精神保健医療の沿革と歴史が理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	精神の健康	1)精神保健とは 2)心の健康（精神の健康）とは	講義	鳥越
2	2	精神（心）の捉え方	1）脳の構造	講義	
3	2	精神（心）の捉え方	2）認知機能	講義	
4	2	精神（心）の捉え方	1）精神（心）の構造と働き ①精神力動論 ②欲動論 ③自我の防錆機制 ③発達論	講義	
5	2	精神（心）の捉え方		講義	
6	2	精神（心）の発達に関する主要な考え方	1）エリクソンの漸成的発達理論	講義	
7	2	精神の危機状況と精神保健	1）ストレスとコーピング 2）セルフマネジメント	講義	
8	2	暮らしの場と精神保健	1）学校と精神保健 2）職場・仕事と精神保健	講義 GW	
9	2	現代社会と精神の健康	1）社会構造との変化と社会病理 2）精神保健が関与する社会病理現象 ① 自殺 ② アルコール問題 他 依存症	講義 GW	
10	2	現代社会と精神の健康		講義 GW	
11	2	精神保健医療の歴史と現在の姿	1)精神保健医療の歴史と変遷 2)精神障害者に関する法律・法制度 3）精神保健福祉法における医療の形態・処遇	講義 GW	
13	2	精神保健医療の歴史と現在の姿	4）スティグマ 5）日本の精神保健医療政策の方向	講義 GW	
14	2	精神に障がいを持つ人の理解	当事者の体験を聞き、精神に障がいを持つ人を知る	講義 GW	
15	2	科目試験			

使用テキスト・参考資料・資料：
e新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論／精神保健
e新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護

評価方法：
筆記試験（100）

専門分野Ⅱ

科 目 名	担 当 者
63.精神看護学方法論Ⅰ （精神に障がいをもつ人への看護）	・中村有宏　・工藤朝木 ・澤中政道　看護師34年 ・宮島　薫　看護師

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	15	1	8	講義

目標　1．精神に障がいをもつ人の看護の基本を理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	精神の働きと精神症状	1）意識障害　2）知覚の障害　3）思考の障害 4）感情の障害　5）意欲障がい　6）自我の障害 7）記憶の障害　8）見当識障がい	講義	鳥越
2	2	精神疾患の主な治療法と看護	1）薬物療法 2）電気けいれん療法	講義	澤中
3	2	精神疾患の主な治療法と看護	3）リハビリテーション療法の実際 ・精神科リハビリテーションの意義・目的 ・作業療法　・ディケア	講義	工藤
4	2	精神科看護における安全管理と倫理的配慮　および 人権擁護と法制度	1）病棟の環境整備 2）自殺・自殺企図・自傷行為 3）攻撃的行動・暴力・暴力防止プログラム	講義	澤中
5	2		4）離院 5）隔離拘束 6）精神保健福祉法における医療の形態と患者の処遇 7）入院患者の処遇と権利擁護	講義	
6	2	司法精神看護	1）心神喪失者等医療観察法と司法精神看護 2）心神喪失者等医療観察法の概要 3）指定入院医療機関における医療と精神看護	講義	中村
7	2	地域移行と地域生活支援の実際 リエゾン精神看護	1)長期入院患者の地域移行支援 2)リエゾン精神看護とは 3)リエゾン精神看護活動の実際	講義	宮島
8	1	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料：
e新体系看護学全書 精神看護学①　精神看護学概論／精神保健
e新体系看護学全書　精神看護学②　精神障害をもつ人の看護

評価方法

筆記試験

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
64.精神看護学方法論Ⅱ (精神看護における基本技術)	鳥越千穂　看護師25年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	前期	15	1	8	講義・演習

目標	
	1.精神障がいをもつ人との「患者－看護師」関係のありかたを理解する 2.精神障がいをj持つつ人とのコミュニケションの意味と多様な方法を理解する 3.精神障がいを持つ人とのかかわりの振り返りの重要性と方法を理解する

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	精神に障がいのある人の関わり方	患者−看護師関係の目指すこと	講義	鳥越
2	2	精神障がいを持つ人とのコミュニケーション	コミュニケージョンとは 精神障がいを持つ人とのコミュニケーションの特徴	講義・演習	
3	2	精神看護における コミュニケーション技術	コミュニケーション技法 カウンセリングの技法	講義・演習	
4	2	精神看護における コミュニケーション技術	プロセスレコード	講義・演習	
5	2	精神看護における コミュニケーション技術	SSTの理論と実際	講義・演習	
6	2	精神看護における コミュニケーション技術	SSTの理論と実際	講義・演習	
7	2	看護援助の展開	1）セルフケア理論　2）日常生活動作能力	講義	
8	1	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料:
e新体系看護学全書 精神看護学①　精神看護学概論／精神保健
e新体系看護学全書　精神看護学②　精神障害をもつ人の看護

評価方法:
　筆記試験(100)

専門分野Ⅱ

科目名	担当者
65.精神看護学方法論Ⅲ （精神看護の実際）	宮島　薫　看護師　　村山裕子　看護師 佐藤　暁　看護師11年　　鳥越千穂　看護師25年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2	後期	30	1	15	講義・演習

目標	精神に障がいを持つ人の看護を理解できる

回数	時間	講義内容		教授方法	備考
1	2	精神科看護における対象理解	精神科患者の捉え方	講義	鳥越
2	2	統合失調症を持つ人の看護	1）精神症状・身体症状・セルフケアのアセスメント 2)経過に応じた関わり 3）主な精神症状と看護	講義	佐藤
3	2				
4	2	気分（感情）障害を持つ人の看護	1）精神症状・身体症状・セルフケアのアセスメント 2)経過に応じた関わり 3）主な精神症状と看護	講義	
5	2				
6	2	精神作用物質使用による精神および行動の障害	1）アルコール依存症　2）薬物依存症	講義	村山
7	2				
8	2	神経障害性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害を持つ人の看護	1)不安障害　2）強迫性障害 3）重度ストレスへの反応および適応障害 4）解離性障害 5）身体表現性障害 6）その他の神経性障害	講義	宮島
9	2	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群を持つ人の看護	1）摂食障害 2）睡眠障害 3）性機能不全、性同一性障害	講義	
10	2	パーソナリティー障害を持つ人の看護	1)妄想性人格障害　2)統合失調質人格障害 3)統合失調型人格障害　4)反社会性人格障害 5)境界性人格障害　6)演技性人格障害 7)自己愛性人格障害　8)回避性人格障害 9)依存性人格障害　10)強迫性人格障害	講義	
11	2	心理的発達の障害のある人の看護 小児期・青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	1）学習障害 2）広汎性発達障害 1）多動性障害2）行為障害3）チック障害	講義	
12	2	紙上事例演習	統合失調症（急性期）の患者の看護	講義 GW	鳥越
13	2				
14	2				
15	2	科目試験		試験	

使用テキスト・参考資料・資料:
e新体系看護学全書　精神看護学概論／精神保健　精神看護学①
e新体系看護学全書　精神障害を持つ人の看護　　精神看護学②

評価方法　筆記試験

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科目名	担当者
66.成人看護学実習Ⅰ	星野めぐみ　看護師21年 岡村ひろみ　看護師33年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2 3	後期 通年	90	2		実習

目的:　成人期にある対象者を統合的にとらえ、各健康レベルにある対象者及びその家族に対して、化学的根拠に基づいた看護を実践するための知識・技術・態度を習得する

目標

1.生命危機状態とそれに伴う精神危機状態にある対象者に対して、潜んでいる危険の回避と安全を守るための看護を実施できる。

2. 急性状態から回復の過程にある成人期の対象者に対して、痛みや不安を持ちながらも生活行動を拡大し、社会復帰を目指していく看護が実施できる。

項目	内容	備考
実習時間	8:20～16:50	
実習構成	臨地実習	
実習施設	新潟県厚生農業協同組合連合会上越総合病院	

使用テキスト・参考資料・資料

講義で使用したテキストを参考にする

詳細は実習要項を参照する

評価方法

実習評価表に基づいて行う

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野	

科目名	担当者
67.成人看護学実習Ⅱ	星野めぐみ　看護師21年 岡村ひろみ　看護師33年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2 3	後期 通年	90	2		実習

目的:	成人期にある対象者を統合的にとらえ、各健康レベルにある対象者及びその家族に対して、化学的根拠に基づいた看護を実践するための知識・技術・態度を習得する
目標:	慢性的な健康障害を持ちながら生活していかねばならない成人期の対象が者を理解し、対象者自身が自己管理をしながら安全に生活していくための看護が実践できる。

項目	内容	備考
実習時間	8:20～16:50	
実習構成	臨地実習	
実習施設	新潟県厚生農業協同組合連合会上越総合病院 独立行政法人労働者健康安全機構　新潟労災病院 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター	

使用テキスト・参考資料・資料

講義で使用したテキストを参考にする

詳細は実習要項を参照する

評価方法

実習評価表に基づいて行う

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野	

科目名	担当者
68.成人看護学実習Ⅲ	星野めぐみ 看護師21年 岡村ひろみ 看護師33年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2 3	後期 通年	90	2		実習

目的:	成人期にある対象者を統合的にとらえ、各健康レベルにある対象者及びその家族に対して、化学的根拠に基づいた看護を実践するための知識・技術・態度を習得する
目標	治療の効果を望めなくなった終末期にある成人期の対象者を理解し、最後の時までの生活を穏やかにその人らしく送ることができるような看護が実践できる。

項目	内容	備考
実習時間	8:20～16:50	
実習構成	臨地実習	
実習施設	新潟県厚生農業協同組合連合会けいなん総合病院 上越地域医療センター病院 医療法人崇徳会長岡西病院	

使用テキスト・参考資料・資料

講義で使用したテキストを参考にする

詳細は実習要項を参照する

評価方法

実習評価表に基づいて行う

基礎分野　専門基礎分野　専門分野Ⅰ　(専門分野Ⅱ)　統合分野

科目名	担当者
69.老年看護学実習Ⅰ	佐々木保子　看護師7年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2 3	後期 通年	90	2		実習

目的: 老年者は長い人生史をもった生活者としての存在であり、発達過程にあることを理解し、老年者の健康障害や日常生活の障害を把握し、残存機能を引き出す方法を学ぶ。そして、生活の質を高めるための看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ。

目標:

1. 老年者の特徴をふまえたコミュニケーション技術を身につける
2. 老年期にある対象者を加齢・発達の視点から理解できる
3. 老年者を家族や地域などとの関連で理解できる
4. 老年者に対し各種活動やレクリエーション等生活に彩りを添える働きかけの必要性が理解できる
5. 実践場面を通して倫理原則を意識し、判断する能力を養うことができる
6. 老年者に関わる保健・医療・福祉システムを学び社会資源を活用する方法を理解する

項目	内容	備考
実習時間	8:20～16:50　8:20～15:50 8:20～17:20	
実習構成	臨地実習	
実習施設	介護老人保健施設　はねうまの里 介護老人保健施設　くびきの 特別養護老人福祉施設　しおさいの里	

使用テキスト・参考資料・資料

講義で使用したテキストを参考にする

詳細は実習要項を参照する

評価方法

実習評価表に基づいて行う

基礎分野　専門基礎分野　専門分野Ⅰ　[専門分野Ⅱ]　統合分野

科目名	担当者
70.老年看護学実習Ⅱ	佐々木保子　看護師7年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2 3	後期 通年	90	2		実習

目的:　老年者は長い人生史をもった生活者としての存在であり、発達過程にあることを理解し、老年者の健康障害や日常生活の障害を把握し、残存機能を引き出す方法を学ぶ。そして、生活の質を高めるための看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する

目標:

1. 対象者との関わりを振り返りながら人間関係を成立させることができる
2. 老年者の健康障害の特徴が理解できる
3. 老年者を身体的、精神的、社会的、生活機能の側面から統合的に把握し、アセスメントすることができる
4. 健康問題の解決や課題達成のための具体的な援助計画の立案、実践、評価ができる
5. 実践場面を通して倫理原則を意識し、判断する能力を養うことができる
6. 老年者に関わる保健・医療・福祉システムを学び、社会資源を活用する方法が理解できる
7. 専門職業人として常に自己研鑽していく姿勢を持つことができる

項目	内容	備考
実習時間	8:20～16:50	
実習構成	臨地実習	
実習施設	医療法人知命堂病院 新潟県立柿崎病院 新潟県立松代病院	

使用テキスト・参考資料・資料

講義で使用したテキストを参考にする

詳細は実習要項を参照する

評価方法

実習評価表に基づいて行う

基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ	統合分野

科目名	担当者
71.小児看護学実習	船岡未恵　看護師14年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2 3	後期 通年	90	2		実習

目的:　小児期にある対象の健康レベルを身体的・精神的・社会的側面から捉え、看護の実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する

目標:

1. 小児期にある子どもの成長・発達を身体的・精神的・社会的側面から理解する。
2. 健康障害がその子どもと家族に及ぼす影響について、身体的・精神的・社会的側面から理解する。
3. 入院している子どもとその家族に及ぼす影響を踏まえ、個別性に基づいた看護過程を展開する。
4. 子どもの成長・発達に応じた看護援助を実施する。
5. 子どもやその家族に対し、倫理原則に則った意義を見出す。
6. 小児看護における保健・医療・福祉の連携と役割を理解する。

項目	内容	備考
実習時間	8:20～16:50	
実習構成	臨地実習	
実習施設	新潟県厚生農業協同組合連合会　上越総合病院 上越市立保育園	

使用テキスト・参考資料・資料

講義で使用したテキストを参考にする

詳細は実習要項を参照する

評価方法

実習評価表に基づいて行う

基礎分野　専門基礎分野　専門分野Ⅰ　**専門分野Ⅱ**　統合分野

科目名	担当者
72.母性看護学実習	横澤亜希子　助産師・看護師25年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2 3	後期 通年	90	2		実習

目的	周産期と新生児期にある対象の健康レベルを身体的・精神的・社会的側面から捉え、看護の実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する
目標	1. 母子およびその家族の特徴を理解し、良好な人間関係を成立させることができる 2. 妊娠・分娩・産褥・新生児各期の母子の特徴を理解し援助できる 3. 妊娠・分娩にともなう身体的・精神的・社会的影響を統合的に把握し、産褥期の母子の看護過程を展開することができる 4. 実践場面を通して倫理原則を意識し、判断する能力を養うことができる 5. 母子保健に関する社会制度の活用と保健・医療・福祉チームの連携ができる 6. 専門職業人として常に自己研鑽していく姿勢を持つことができる

項目	内容	備考
実習時間	8:20～16:50	
実習構成	臨地実習　学内実習	
実習施設	新潟県厚生農業協同組合連合会糸魚川総合病院 第4病棟・産婦人科外来	

使用テキスト・参考資料・資料

講義で使用したテキスト・講義資料を参考にする

評価方法

実習評価表に基づいて行う

基礎分野　専門基礎分野　専門分野Ⅰ　**専門分野Ⅱ**　統合分野

科目名	担当者
73.精神看護学実習	鳥越千穂　看護師25年

年次	時期	時間数	単位	講義回数	授業形態
2 3	後期 通年	90	2		実習

目的:　こころを病む人々が、人間的尊厳をもってその人らしい生き生きとした生活を送れるように　精神看護の実践に必要な知識・技術・態度を習得する

目標:

1. 対象者との相互関係のなかで対象者の理解を深める
2. コミュニケーション技術を駆使して、対象者－学生関係を発展させる
3. 「その人らしく生活」するための個別的な援助を理解する
4. 治療的な環境づくりとチーム医療・調整能力のあり方について検討し精神看護の役割を理解する
5. 地域で行われている保健・医療・福祉援助活動について理解する
6. 専門職業人として常に自己研鑽していく姿勢を持つことができる

項目	内容	備考
実習時間	8:30～17:00	
実習構成	臨地実習	
実習施設	独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 夕映えの郷	

使用テキスト・参考資料・資料

講義で使用したテキストを参考にする

詳細は実習要項を参照する

評価方法

実習評価表に基づいて行う